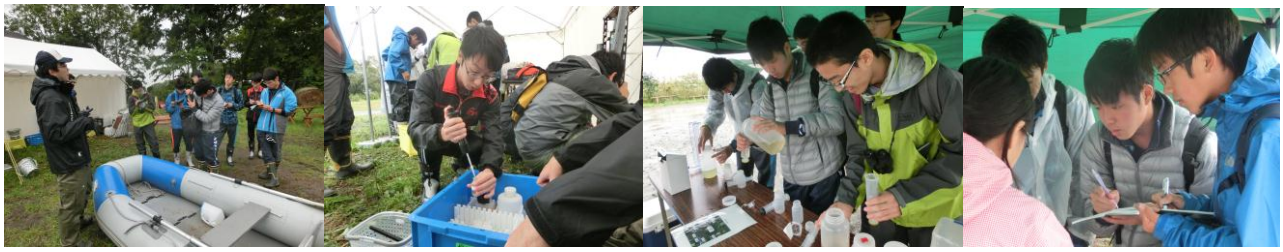
滝高フロンティアサイエンス通信

2013,10,3　SSH 理数科
第　１６　号

SSH 特別活動　理数科１学年道内研修「宮島沼・ｳﾄﾅｲ湖巡検」ﾘﾎﾟｰﾄ　その１

理数科１学年 29 名は、10 月１日(火)、２日(水)の１泊２日の日程で、環境調査基礎Ⅰ校外研修「SSH 特別活動道内研修　宮島沼・ウトナイ湖巡検」に行って来ました！！

理数科１学年の SSH プログラムとしては最大行事の校外研修で、酪農学園からは水質化学研究室の中谷先生、環境化学研究室の吉田先生ほか６名のアシスタントの学生さん、宮島沼水鳥・湿地センターの牛山さん、ウトナイ湖サンクチュアリネイチャーセンターのレンジャー原田さん、篠原さん、多くの方々の協力のもと実施されました。参加した理数科１年生は宮島沼に関する調べ学習、事前学習として酪農学園大学での調査実習、授業の中での事前学習に取り組み今回の研修に臨みました。



プログラム①　宮島沼環境調査（水質調査・温室効果気体の観測）

中谷先生、吉田先生、アシスタントの学生さんの指導のもと、実際に大学の研究室で毎月実施されている調査研究を実際に体験させていただきました。実際のサンプリング作業や分析を行うなかで、正しいデータのとりかたについて大変丁寧に、ときに厳しく教えていただきました。学校で行った化学実験の知識や経験がとても役立ちました。

プログラム②　マガンねぐら入りの観察と個体数調査

宮島沼水鳥・湿地センター職員　牛山さんから、調査研究の意義について、実際に牛山さんが現在取り組まれている調査についてお話いただきました。

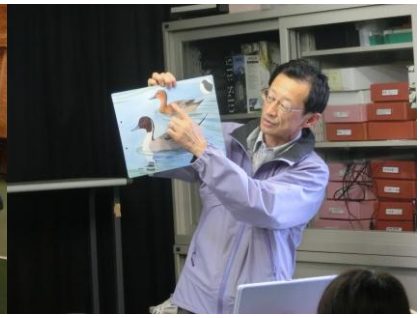
マガン個体数調査は各班ごとにチャレンジしました。春とことなり、マガンの群れが大きくて数百以上の大群が一気に沼に戻ってくる様は壮観でした。（カウントは大変でした・・・）

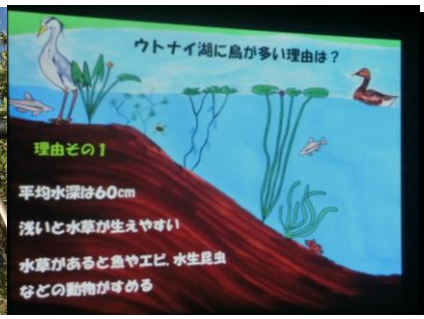
朝、４：５０　いざ、ねぐら立ち観察へ！　朝５時　沼で休むマガン、　ねぐら立ち間近！！

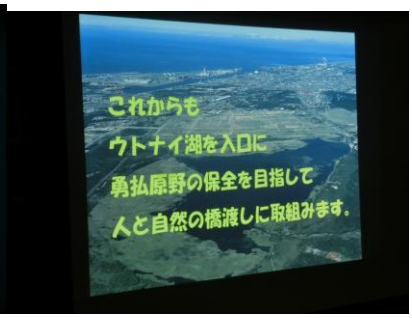
※（ねぐら立ちの様子は動画におさめました。生徒の撮影したねぐら立ち画像を次号で紹介します…すみません）

プログラム③　マガンねぐら立ちの観察と個体数調査のまとめ

起床４時半、天候はくもりで風もなく穏やか。ホテルまでマガンの鳴き声が聞こえます。観察は５時過ぎから。静かに静かに観察しました。5:15 過ぎからぱらぱらと飛び立つ群れが見られました。ねぐら立ちは突然きます。5:30 過ぎから段階的に第一陣、第二陣、第三陣と飛び立ちました。迫力満点でした。その後、牛山さんと個体数カウント答え合わせを。班によりばらつき、２万台から４万台、３万羽台が多かったか？正解は約 42700！何と 4-②班ほぼ正解、明日から手伝いを頼まれました（笑）







プログラム④　ウトナイ湖野鳥観察と個体数調査

２日目はすこし足をのばし、約２時間バスで走り日本で４番目のラムサール湿地、ウトナイ湖に来ました。ネイチャーセンターでレクチャーを受けた後、観察ポイントへ移動し種類ごとの個体数調査に挑戦です。水鳥（ﾏｶﾞﾝ　ﾋｼｸｲ　ｺﾊｸﾁｮｳ　ｺﾌﾞﾊｸﾁｮｳ　ｵｵﾊｸﾁｮｳ　小型ｶﾓ類）がたくさんいてカウントと見分けに苦労した班とほとんど水鳥が見られず、蚊の襲撃を受けた班と明暗が分かれてしまいました。宮島沼から飛来したと思われるコハクチョウの群れが今シーズン初めてウトナイ湖で観察され、初認日として記録されました。「滝高のみなさんが連れてきてくれたんですね！…by 原田さん」

二日間の研修を終え、理数科１年生は元気に（本当に元気、そしてよく食べる！）学校に戻ってきました。これから、活動してきたことをまとめ、ポスター作成にとりかかります。感動や驚きを多くの人に伝えましょう！